

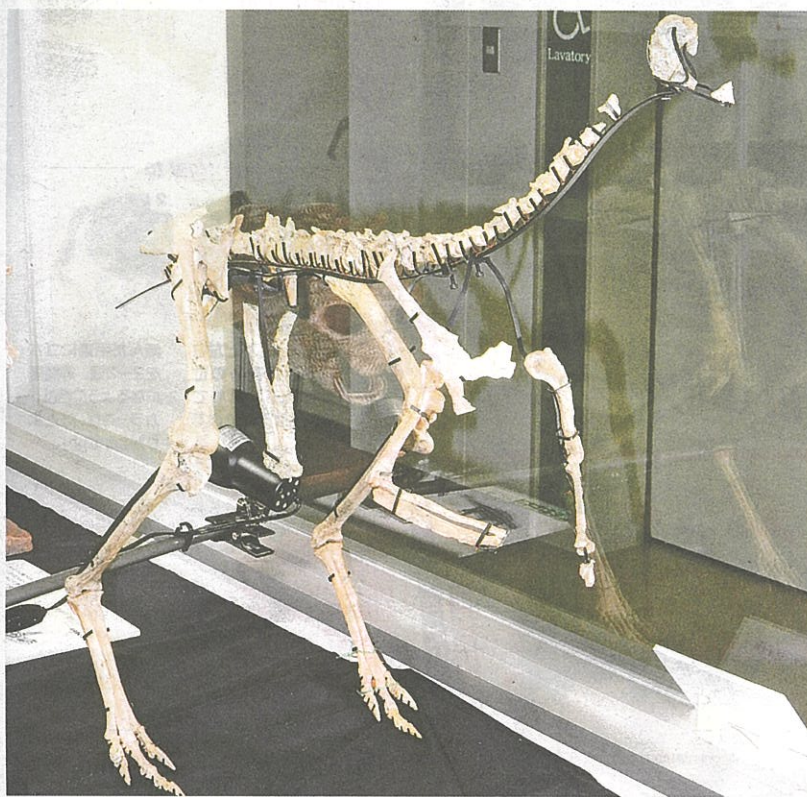
特集



「へビクイワシの姿、かっこいい！」
(静岡・掛川花鳥園)撮影・山本和雅

卒業研究中の学生と一緒に静岡県掛川市へ行って来ました。静岡県で化石探し？
いえいえ、「掛川花鳥園」という鳥の動物園へ「へビクイワシ」の観察です。意外かもしれませんが、私たち古生物学者はしばしば動物園や植物園へ行きます。現在の動物園を見ると化石を研究するためのいろいろなヒントを得られるんですよ。大学の講義でも時々学生と一緒に動物園へ行きま

化石研究のヒントを得る



アビミムスの骨格(岡山理科大学恐竜学博物館で展示中の標本より)

シですが写真を見てください。「かっこいい！」
本当にびっくりするほどおしゃれな鳥でした。
へビをキックしてとめるだけあって、体はスリムです。すばしく、歩き方もすたすたときれいです。さて、その足先は？なんと大きさも形もモンゴルの7000万年前の地層から出る「アビミムス」そっくりなのです。モンゴルのシヤルツァフからはアビミムス

の骨と足跡が一緒に出ています。しかも足跡からはアビミムスが100頭ぐらいの集団をつかって横広がりです。時速30キロで走ったことがわかっています。
へビクイワシのような恐竜「アビミムス」が群れて走る姿。鮮やかでダイナミックな光景が目につきます。動物園からこんな夢を見るのも古生物学者の楽しみなんです。

恐竜調査隊が行く

岡山理科大学教授・石垣忍



動物園での研究も大事

まめちしき 豆知識

アビミムス モンゴルで見つかる小型の肉食恐竜。大きさは1桁ぐらいで七面鳥サイズ。腰の形は恐竜に近いのですが、尾が短く、前足は羽の痕跡が骨に残り、指先の構造なども鳥に似ています。ちなみにアビミムスとは「鳥そっくり」という意味。



絵：西岡伊織

★ 新春お年玉レクチャーがあるよ！ ★

日時：2019年1月5日(土) 10時30分～、13時30分～
場所：岡山理科大学恐竜学博物館(岡山市北区理大町1-1)
石垣忍教授が発掘のお話と展示解説をします。申し込み不要。
参加無料。

詳しくは **恐竜学博物館** で検索